

KODAK TRENDSETTER

Q2400/Q3600 プレートセッター



KODAK
SQUARESPOT
IMAGING
TECHNOLOGY



信頼性と堅牢性に優れた超大判サイズ CTP

高速・高解像度のイメージング

KODAK TRENDSETTER Q2400 / Q3600 プレートセッターは、TRENDSETTER シリーズ ならではの高い信頼性と堅牢性を誇る超大判対応の高性能 CTP です。最大プレートサイズは Q2400 モデルで 1,422×1,804mm、Q3600 モデルで 1,600×2,083mm と 4 倍判クラスの印刷に対応しています。新たに W スピードオプションをリリースし、最高で毎時 40.2 版の高生産性を実現。最大 5,080dpi* または 4,800dpi* の高解像度オプションも用意し、多様な印刷アプリケーションへの対応を可能としています。

※5,080dpi は 2,540dpi ヘッドのオプション、4,800dpi は 2,400dpi ヘッドのオプション

リモートでの出力・監視が可能

オプションの KODAK Mobile CTP Control App を使用すれば、スマートフォンやタブレット端末 (Android・iOS 対応) から、TRENDSETTER Q2400 / Q3600 をリモートで監視・制御できます。刷版室の外や外出先からでも、CTP の稼働状況がリアルタイムで把握でき、アラートもすぐに察知できるため、CTP の稼働時間を最大化することができます。

フィルムイメージングオプション

フィルムイメージングオプションを搭載すれば、フィルム出力兼用機として運用でき、シルクスクリーン製版やフレキソ製版などフィルムを必要とする様々な製版分野のニーズに対応できます。(真空システム、フィルム見当補正センサー/インジケーター、デブリス集塵システム、外部吸引システムの各機器で構成)

正確で安定したイメージング

定評ある KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジーを搭載することで、プレート乳剤の感度や自動現像機/レーザー出力の変動といった品質への悪影響を最小限に抑えて、正確で安定したイメージング、高い露光精度を実現します。また独自の自動温度補正機能を備え、異なるプレート間、装置間でも正確で一貫したイメージングが可能です。こうした KODAK プレートセッターならではの高い安定性が、再出力や感度調整にかかる時間と手間、コストを削減し、競合会社との差別化、ビジネスの成長に大きく貢献します。さらにオプションの KODAK STACCATO スクリーニング、KODAK デジタルプレートとの組み合わせにより、フォトリソスティックな素晴らしい印刷品質を提供します。

KODAK が提供するトータルソリューション

KODAK は、CTP からプレート、プレート搬送ライン、ワークフローまで完全に統合されたトータルソリューションを提供するシステムベンダーです。世界中で 24,000 台を超えるサーマル CTP の導入実績、世界各地のプレート製造拠点、そして高度な専門技術と迅速なレスポンスのサポートネットワークを誇り、大判プレート製造に関わるお客様にとって理想的なパートナーです。



KODAK TRENDSETTER Q2400/Q3600 プレートセッター

一般仕様		
テクノロジー	KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジー、830nm 赤外線レーザー、外面ドラム方式	
ロード/アンロードシステム	セミオートのプレートローディング/アンローディング	
パフォーマンス仕様	Q2400	Q3600
生産性 ^{*1,2} (2,400dpi) プレートサイズ 800×1,030 mm	F スピード : 毎時 20.1 版 X スピード : 毎時 24.6 版 W スピード : 毎時 40.2 版	
生産性 ^{*1,2} (2,400dpi) プレートサイズ 1,422×1,804 mm	F スピード : 毎時 13.7 版 X スピード : 毎時 17.6 版 W スピード : 毎時 31.0 版	
生産性 ^{*1,2} (2,400dpi) プレートサイズ 1,600×2,083 mm		F スピード : 毎時 12.3 版 X スピード : 毎時 15.9 版 W スピード : 毎時 28.0 版
再現性 (繰り返し精度) ^{*3}	同一版への 2 重露光で ±8 ミクロン	
出力精度 ^{*3}	イメージサイズと形状で ±35 ミクロン	
見当精度 ^{*3}	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン	
ワークフロー製品との接続	TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載した KODAK プリントコンソールを標準で付属 KODAK PRINERGY ワークフローシステム及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能 オプション : ・ JDF / JMF コネクションオプションにより、KODAK プリントコンソールからジョブ及び CTP の稼働状況を提供可能 ・ KODAK Mobile CTP Control App で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能	
イメージング仕様	Q2400	Q3600
解像度	標準 : 2,400 / 1,200 dpi オプション : 2,540 / 1,270 dpi (W スピードは除く) 高解像度オプション : 5,080 / 4,800 dpi (W スピードは除く)	
スクリーン線数	AM : 最大 450 lpi (標準) FM : 25 / 20 ミクロンの KODAK STACCATO スクリーニング (オプション)	
最大プレートサイズ ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1,422×1,804 mm	1,600×2,083 mm
最小プレートサイズ ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	394×394 mm	394×394 mm
最大イメージエリア ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1,408×1,804 mm	1,586×2,083 mm
外形寸法/重量		
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行)	1,200×3,225×2,131 mm	
重量	1,760kg	

TRENDSETTERはクラス1のレーザー製品で、欧州のEN60825-1および米国の連邦規則21 CFR 1040.10-CDRHIに完全に準拠しています。

※1 イメージング時間は、メディアの感度とスクリーニングの種類によって異なります。上記の表はKODAK TRILLIAN SPプレートの生産性を示しています。

※2 コダックワークフローでテスト済み。

※3 仕様は、全環境温度範囲にわたる最大プレートサイズでの性能に関するものです。

※4 標準プレートゲージは、0.2~0.4 mm (0.008~0.016インチ) を使用しています。



KODAK.COM/GO/CTP

©Kodak 2021. Kodak, Prinergy, Staccato, SQUARESpot, Trendsetter およびKodakのロゴは、Kodak社の商標です。



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270
仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

2020-07